



本日はよくお参り下さいました

急に寒くなりましたが皆様いかがお過ごしですか。先月号で大嘗祭と大嘗宮の話題に触れましたが、その、大嘗宮に11月26日に参観に行っていました。東京駅から徒歩10分ほどで、東御苑に到着、手荷物検査を受けて、坂下門をくぐり、順路に沿ってさらに900mほど進むと、大嘗宮に到着しました。目の前で参観した感想は、いたって質素で、白木でできた建物が、お伊勢さまを思わせる作りでした。また、日本人だけでなく、外国の方の見学も多く、大嘗宮への人々の関心の高さが伺えました。多くの人々で賑わう大嘗宮
ご一緒させて頂いた方のお話では、前回はここまで近くには行けず、撮影も禁止されていたそうです。12月8日まで公開されており、どなたでも無料で参観できますので、お時間を作って訪れてみてはいかがでしょうか。みなさまにとって新しき年が、素晴らしい一年になりますように。お一人お一人のご多幸を心よりお祈り申しあげます。今年も一年間この神社だよりをお読み下さりありがとうございます。権禰寛 道子



多くの人々で賑わう大嘗宮

12月

1日・15日 月次祭(つきなみさい)
皇室の弥栄と国家安泰、氏子崇敬者並に社会の幸福と平和を祈る。

5日 酉の市 だるまや熊手など多くの露店で賑わう。金運開運招福熊手守(初穂料千円)、神棚用おふだ一式(初穂料三千円)の授与が始まる。(豆知識参照)

7日 大雪(たいせつ) 山の峰が積雪に覆われ、熊が冬眠に入り、南天の実が赤く色づく頃。

22日 冬至(とうじ) 昼が1年で一番短く、夜が一番長くなる日。昔からこの日を祝う風習がある。

25日 終い天神(しまいてんじん) 御祭神菅原道真公の誕生日6月25日、薨去(こうきょ)の2月25日に因み毎月25日は、天神さまの御縁日である。特に12月25日は、終い天神(1月25日は初天神)と呼ばれる。

31日 大祓(おおはらえ) 大祓は、我々日本人の伝統的な考え方に基づくもので、常に清らかな気持ちで日々の生活にいそむよう、自らの心身の穢れ、そのほか、災厄の原因となる諸々の罪・過ちを祓い清めることを目的としている。大祓は6月と12月の年二回行われ、12月の大祓は年越の祓とも呼ばれ、新たな年を迎えるために心身を清めるお祓い。



二十二日は冬至の日。

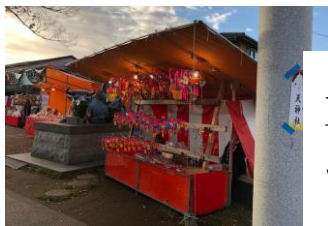
※1月号はお休みさせていただきます。

もちろん豪華な熊手屋さんも。



大嘗宮と天満宮のおふだ、おかめの顔の脇には小判と稲穂が飾られ、派手さは、

おとりさんで有名なのはやはり熊手やだるまです。熊手は、神社でお守りとして授与している通称かっこめと呼ばれる熊手



だるま等の縁起物が並びます。

熊手やおふだは、社殿の前の特設授与所にてお受け頂けます。



さまで毎年十二月五日で固定されています。酉の市は、一年の無事と来る年の福を願うお祭りです。

が内川の天神、れるもの、一月に行なわといえ、十



神職が心を込めて奉製している金運開運招福熊手。(かっこめ)

天神さまの豆知識

—内川天神社酉の市—

十二月五日(木)

今年も暮れの風物詩、酉の市の季節が

毎年固定の日に行われます。



ないものの、必要な要素がギュッと詰め込まれているこの熊手を目的に毎年足を運んでくださる方も多くいらっしゃいます。

お子様も十分楽しめるお祭りです。ご家族やお友達とぜひいらして下さい。



昼から夕方にかけて露店が20以上出店します。(大体21時まで)

今月の言葉

『つねに大局を見て』

行動せよ

狭い考えで、物事の善悪を判断してはならない。自分が正しいと思ったことであっても、人々の和を乱して混乱をもたらす場合もある。人々に混乱だけを与えては、正しいこととはいえない。真に正しいことならば、筋道を立てて、きちんと人を導く手法があるはずだ。その手法は知恵であり学である。参考文献『神道のことば』武光誠監修 河出書房新社発行